

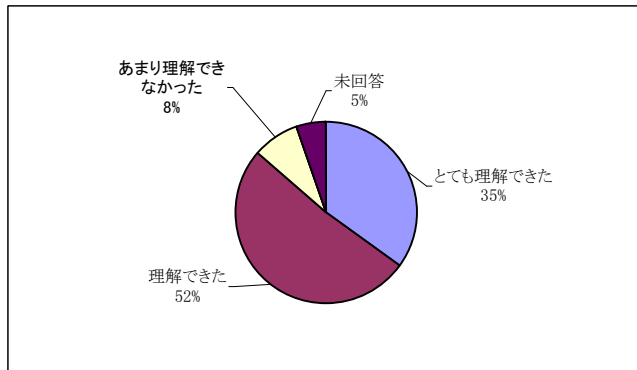
9/9 産学協働人材育成ネットワーク設立準備研究会

2011年9月9日開催

回答者数37名

1. 趣旨説明「産学協働人材育成ネットワークについて」

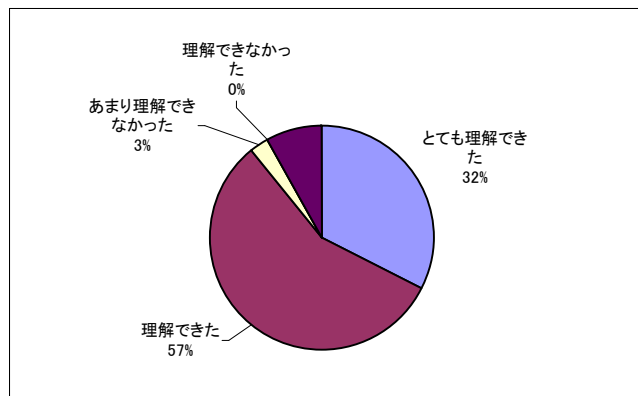
とても理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	未回答	合計
13	19	3	0	2	37



- ・ 何の目的のネットワーク作りなのか良く分かった。
- ・ 間違った会社選びをさせないためのものか、学生の企業が求める能力を引き出し仲すためなのか、おそらく後者だと思いました。
- ・ 中堅以下の育成の重要性が分かった。
- ・ 日々、我々も問題意識として感じていることなので。
- ・ 1つの脳より2つの脳、2つの脳より多くの脳。異なる立場の方々が集まってアイデアを出し、新しい仕組みを作るからこそ変化が生まれる。そう感じとれたから。
- ・ 大枠での方向性が理解できました。改めて、強く関心を持ちました。
- ・ 大学、企業とも中堅にスポットを当てることに共感。ボリュームゾーンでありながら、これまであまり手をかけてこられなかった層なので。
- ・ 似たような研究会は幾つか参加したが、「ホンネ」「マジメ」に語り合う会合は初めて参加したので、大変興味を持ちました。
- ・ 社会が一体となって人材を育成していくことの重要性に気づき、今後の展開を進めていくための必要なネットワーク作りだと理解した。
- ・ 当初から比べると目的が曖昧になったような気がしました。
- ・ 以前よりお聞きしていたため。
- ・ 最初に説明があることで軸がブレず、目的共有ができると感じました。
- ・ パネルディスカッションから参加しました。拝聴しておりませんが、ペーパーにて拝読した限りにおいては共感致しました。他に同様の学会・研究会が少なからずありますが、ある部分では協力もし、大目的を目指せばよろしいのではないでしょ
- ・ 大きな課題だと思う。
- ・ 主旨は理解できたが、目指すべき方向性が見えづらい。
- ・ 気持ちは伝わりました。共感もしました。「大学の教育の再生」いい言葉だと思いました。具体的に見えてこなかったのが次回への希望につながると感じます。
- ・ ご指摘が具体的で問題意識が明確でした。方向性はよく理解できて共感できるものでした。
- ・ 産学協働が日本の場合、非常に遅れていることが理解できた。
- ・ 「コーオペ教育推進」から更に発展したネットワークとして、現状と将来構想が理解できました。

2. 問題提起「産学が協働する人材育成について」

とても理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	未回答	合計
12	21	1	0	3	37

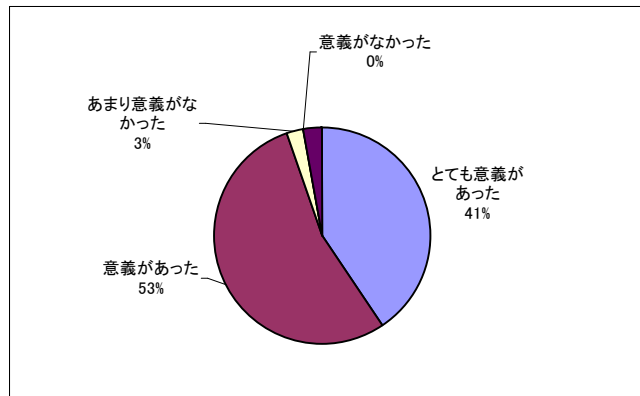


- それぞれの立場での人材育成について話を聞くことができ参考になったし、立場毎の違いを理解できた。
- インターンシップで好きな(だと思っていた)業界・業種が嫌いになるケースが多くあると思っています。いろいろな経験をさせるならば企業側には選ばせないで実現する必要があるそうです。
- 当たり前のようにインターンシップを受け入れてきたが、疑問を持つ必要性が分かった。
- それぞれの違う立場、違う視点からの切り口でお話いただけたので。
- それぞれの立場での具体的な意見を聞くことができ、とても参考になりました。
- 企業サイドから採用活動に対して、育成の視点が提示されたのが新鮮でした。
- 同感です。形骸化したインターンシップや若手層のキャリア形成は今後の社会を考えると危機に考えておりました。企業の人事として常にあった胸のつかえが取れたように感じました。
- 問題は大学側も企業側も同じであったようです。インターンシップの目的や活用法が諸外国と違いすぎる、まだまだ日本は遅れているような気がした。
- 産学どちらが王でもないと思いますので、日本という大きなステージで、日本人の強さをもう一度取り戻せるように人材育成を考えてほしいです。
- 産・官・学の立場の意見や取り組みが聞けた。もう一方の当事者である、学生の立場の意見も聞いてみたいが、どのような立場のどのような意見を聞くかは検討が必要かと。
- 各立場でのお話は分かりやすかったが、時間が少なく一般論が多かったのは残念。
- 学生が世間を知らない。これは教育機関と親、さらに社会全体にも責任(罪)がある。もっと積極的に働きかける必要がある。
- それぞれの分野の話が聞けて良かったです。問題提起までするには時間があつたほうがいいのかと感じました。
- 大変興味深かったのですが、10分では発表のみなさまも少し消化不良のようですが…
- 各10分ずつの発表は中途半端な気がしました。テーマ、ポイントを絞った方が理解度が深まると思います。
- 大きな課題だと思う。
- 「企業と大学がやるべきこと」のテーマを具体的に模索する問題提起がいくつもあつた。

- みなさまが熱い気持ちでお話されていたため。
- 役所の報告とは、何とも切迫感を欠いていてこれではという感想です。
- 記者、大学の現場、企業の現場での生のご意見に共感できました。
- 共感することが多かった。実践案について話し合いたいと思った。
- 「2:6:2」の問題は、全体のレベルが低下しているのか問題であり、「2:6:2」の構成はどの時代も変化しないと思います。
- とてもよく考えられたプログラムばかりでした。

3. パネル・フロアディスカッション「これからの人材育成を真剣に考える」について

とても意義があった	意義があった	あまり意義がなかった	意義がなかった	未回答	合計
15	20	1	0	1	37



- 様々なテーマについての考え方、意見が聞けたため。
- 2:6:2の下の部分はどうするか、企業にその教育部をと言われても対応はかなり難しいと思う。上中位のレベルを上げ、より企業にとって有益となる人材の育成については大いに賛成です。
- インターンシップは企業…社員とのマッチングが、その企業で働きたいと学生が判断できるだけでも良いのではないのでしょうか。働く→働きたいと思ってインターンシップを終えてほしい。
- インターンシップに対する考え方や意味がそれぞれみな(自分も含め)違うのが興味深かった。
- インターンシップに関して、ブームとなっていると感じてました。今後のインターンシップの在り方について、いろいろな意見が聞けて良かった。
- インターンシップの在り方について考えさせられた。また、異なる立場の方々の意見を聞くことができ、自分にとって有益な時間となった。
- ・つぶれない企業の選択と言われがちだが、つぶれる企業でも良いのではないか。その後、どう生きるか、活かすかではないか。
・企業が必要とする能力の育成に注目が行きがちだが、企業を選ぶ力の育成も大事なのは。良い企業か否かでなく、取り組み続けたい企業かどうか。
- 産・学・官それぞれの立場が異なるパネラーが同じ危機感を持っていることが良く分かりました。
- 産・学・官が揃って意見交換できたのは良かった。総合的に人を育成していく重要性が皆の共通理念としてベースにある有意義なディスカッションでした。
- 最後に本質の質問が出て、それが問題提起になったように思います。
- 活発な質疑で意義があった。現段階では自由な議論で良い。今後、どの時点でどういう方向性を打ち出すかがポイントになると思います。
- インターンシップに関するディスカッションは参考になりました。2:6:2の議論は堂々めぐりになるので、深入りしない方が良いと思います。正直、6の人も外国人(上位層)に比べると厳しいのですから…
- 参加者の様々な見解を聞くことができ、非常に参考になりました。
- 様々なご意見から気づき、考えることが多くありました。今後、仕事の場で念頭に置いて行動して参りたいと思います。
- 下の2割をどうするかは大きな問題です。インターンシップだけではないのですが、インターンシップ&産学協働人材育成の行動は大きいと思いました。議論が広がっていった点はすごく良かったと思います。
- お互いの意見を交換する機会としては有意義であったかと存じます。挙手発言時に申し上げましたが、このセッションのテーマが途中まで理解しきれぬ面がありました。
- 多様な立場のパネラーがおられたことは非常に良かったと思います。
- 色々な意見が飛び交い、とても有意義でした。
- 各視点からの活発な意見が交わされてきたと感じた。

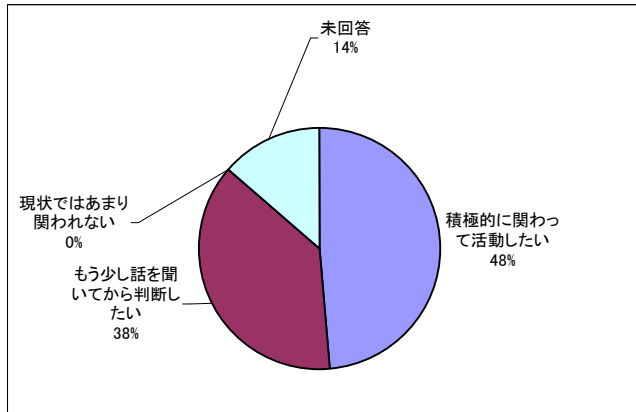
- ・ インターンシップの在り方等、とても参考になり、考えさせられた。
- ・ インターンシップの価値について話すなら、そこにフォーカスしたい気持ちが残りました。
- ・ 若干拡散した感がありますが、何が課題か見えつつあったと思います。さらに深化させて議論されることを望みます。
- ・ 各省庁の施策、ならびに企業における採用現場の本音が理解できた。
- ・ 様々な立場の意見を聞くことができ、有意義でした。
- ・ 日本社会が抱えている深い問題が浮き彫りになったようです。各参加者が共有できたことは意義がありました。
- ・ インターンシップに関わっており、ちょうど迷っている内容が含まれていた。少し方針が見えた気がしていたが、また迷いが広がってきた…
- ・ 方向付けが不明確で、放談会的になってしまった。
- ・ 本音ベースの議論が出た。率直な意見が聞けた。

《最も印象に残った(または共感できた)ワード》

- ・ 「不採用」活動
- ・ 1-6-3、1-0-9、家庭教育、アメリカのインターンシップ
- ・ 2:6:2の2は切り捨てる
- ・ 育成型採用活動
- ・ 育成型採用活動
- ・ 育成型採用活動
- ・ 育成型採用活動、社会的使命、2:6:2
- ・ インターンシップ
- ・ 学生運動ぐらい学生が社会に向くべき
- ・ 学生に社会情勢をもっと理解させること
- ・ 家庭での躾、父親の無関心
- ・ ギャップイヤー、ジョブシャドー
- ・ キャリアコンサルタントには業界・企業・職種等の知識が欠けている。(学生にきちんと説明、アドバイスできるのか！とても大事なことであり、企業も協力できること。)
- ・ グローバルリーダーも重要だが、中小企業を支える人材育成はもっと重要
- ・ ジョブシャドー
- ・ ジンザイ
- ・ 早期のジョブシャドーの実施
- ・ 中小企業の魅力を伝える。
- ・ どの会社を選べば転職に有利か？
- ・ 発展途上大学の人材育成(ビジネス)モデル、人材・人罪
- ・ モデルづくり

4.「産学協働人材育成ネットワーク」について

積極的に関わって活動したい	もう少し話を聞いてから判断したい	現状ではあまり関われない	未回答	合計
18	14	0	5	37



- ・ 内容にも寄るが、考え方に同意できる活動のため。
- ・ 何ができるかまだ分からないが、多くの企業・大学が集まって実行する意味があるとは思いました。
- ・ 個人的に非常に興味を持ちましたが、会社としてどのように取り組むか、考えていただきたい。
- ・ アルバイトやインターンシップ生と話していると現場から学ぶ力がどんどん落ちているのを感じるから。
- ・ 企業として、画一的な採用手法に限界を感じています。深く関わることで、新たな採用手法を見出したい。
- ・ 中堅・中小企業の方の意見をもっと聞くべき。パネルディスカッションにも参加してもらいたいと思います。(そもそも中堅・中小企業とは？基準は？従業員数なのか、売り上げ高なのか、マーケットシェアなのか？)
- ・ とても共感でき、個人的には積極的に関わっていきたくて考えております。会社にも提案し、関わっていけるよう検討いたします。
- ・ 複数の評価、人材育成のエリアを広げることが未来への積極的な取り組みを誘発するのではないかと日常取り組んでいるので。
- ・ 若手者支援→採用→新人育成→人材開発(キャリア支援)→セカンドライフの一連の支援が必要だと思っています。是非、今後も情報交換させて頂きたいです。
- ・ 今日はスタート、今後どのように発展、実現していけるかの過程に参加したいとは考えている。
- ・ 中小企業への人材確保(育成)は急務です。
- ・ どのような立場で関わっていけるかは、引き続きご相談させてください。
- ・ 企業人事の経験者として、個人という立場での参加か、人材会社としてお手伝いをするという立場での参加とするかは迷うところです。
- ・ 今年度から大学教育に関わる機会を得ました。学生の現状を見て、社会人となった人材が何故基本的なことができないのか、分かった気が致します。産学両方の立場におりますので、微力ではございますが、是非活動させていただきたく思います。
- ・ 「お誘い」の冒頭に記しておられるように、理工系、医学系など理系以外での産学連携の必要性には共感致します。どのように関わられるかを模索したく存じます。
- ・ 個人ではなく、だいがくとしての取り組みになるので、もう少し勉強させてください。
- ・ インターンシップのモデル作りに積極的に関わりたい。
- ・ 学内で問題意識を共有しきれる自信がありません。努力はしますが…
- ・ 高い問題意識と志に感銘しております。この当初の活動目的が「高い位置」からの提言集団(=社会主義活動)へと変化することなく、継続されることを望んでおります。
- ・ できること、頑張ります。

・ 本日の設立準備研究会について、ご意見、ご感想等をお聞かせください。

- ・ 今年から新卒採用を担当させて頂いており、まだまだ勉強不足です。大学側の意見やインターンシップの必要性を聞くことができ、良い機会となりました。今後の採用に少しでも生かしていけたらと思います。本日はありがとうございました。
- ・ もっともっと腹を割って話すべし。まずやってみるべし(小さな所より小さな地域取組から)。協力をします。成功体験を作っていくましよう。
- ・ 働いている人を見せることで、働くことの意味を学生に教えることは重要だと思う。裏を見せて良いなら採用担当の仕事をみせても良いかなと個人的には思いました。髪型、色を変えても良いと考える学生だと良いのですが…
- ・ 様々なお話が伺え、今後の人材育成への取り組みに非常に参考になりました。更に深めていければと考えております。
- ・ 建前ではなく、学生によつてのレベルの差と、正面から議論していて驚いたが、分かりやすかった。
- ・ 最後の宮川様のご意見に共感しました。良い共同ネットワークができればと思います。※本日は帰社しますので、二部は残念ながら参加できません。また次回、よろしくお願い致します。
- ・ 定期的に開催していただきたい。
- ・ 本日は大変勉強になりました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。
- ・ 率直な意見の交換が刺激的でした。
- ・ 大学と企業の壁を取り払う、いいプロジェクトだと思います。当社も公募型インターンを8年間、高校生の受け入れも行っており、また個人的にもCDAとして若手者のキャリア支援に大変興味を持っておりました。本当に有意義な会でした。今後個人的に会社としても色々お手伝いできたらと考えています。ありがとうございました。
- ・ 本日の皆さんのパッションを2:6:2の学生さんに伝えたい。但し、企業にはいろんな職種、特色があるので、2の方々にも夢や希望を持てるようにできたらと思います。ありがとうございました。
- ・ 持続性と実行力のあるネットワークを組織化するのが良いと感じます。また、既存の就活ビジネスとは異なる具体的な枠組みを提示していき、既存の枠組みからの脱却を進めるのが良いと思います。
- ・ ご準備、調整が大変だったと思います。ありがとうございました。
- ・ 仕事の都合で途中退席いたします。またこのような機会がありましたら、ご連絡いただきたく、よろしくお願い致します。
- ・ インターンシップごっこはやめようという発言は刺激的でした。学生(お客様)を楽しませるプログラム作りに一生懸命になっている面はあるなと感じました。学生にとって、そして企業にも大学にもメリットのあるインターンシップの在り方を考えていけないといけないと思いました。
- ・ 大学のために、会社のためにという話ではなく、日本の未来のために若者をどう育成するかという大切な話ができるような気がします。
- ・ モデルづくり等、共感できる点がとても多い会でした。また、ご案内をいただければと思います。
- ・ これからがスタート、本学も本気でこの産学協働に取り組みたい。勉強させていただき、ありがとうございました。
- ・ 最後に宮川様が振り返って頂いたので、よく分かりました。厳しく、優しいメッセージが最高でした。最初に話されても良かったのではないのでしょうか？非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 準備に随分な手間と時間がかかっていることは分かりました。それに応じて余りある成果が上がったのではないのでしょうか。上記4. 理由は個人的には希望する内容でした。
- ・ ・もう少し出席者の話す機会があった方が議論できるのではないだろうか。
・定期的にこの研究会に出席したいと考えている。
- ・ 貴重な機会にお誘いいただき、ありがとうございました。
- ・ 設立準備研究会から更にフレームワークが具体化になることを期待しています。
- ・ 人材育成は、人材に関わる教育界、産業界が連携して行う必要がある。日本の形をどのような形で作るか、工夫が双方の力を合わせて構築する必要があると考えます。
- ・ 大学・企業への着実なつながりを体感できた。